

## 第6回定例富谷塾



2月19日（土）、第6回定例富谷塾が初めてオンラインで開催され約20名が参加しました。前半は参加者を2～3名毎のグループに分けて、「恋するスイーツ」のような修飾語と名詞の組み合わせから事業や商品のイメージを膨らませて発表するというアイデアワークショップを行いました。後半は起業家として重要な「決心軸」の話で意見交換を行い、参加者それぞれの決心エピソードでイベントは盛り上がりました。3月は今年度最後の定例富谷塾ということで市役所のホールをお借りした卒業展示会も行う予定です。市役所の皆さんもぜひ足を運んでみてください。

## おためしイノベーション富谷

おためしイノベーション富谷（通称：OIT）とは、「行政・民間企業・住民（富谷塾生等）」の協働により、行政課題や地域課題に対して民間のサービスやテクノロジーを活用し、最適な解決策の検証を行う事業です。

現在は募集課題に対して申し込みのあった各企業の担当者と面談を重ね、庁内各課とのマッチングを図っているところです。各応募企業はそれぞれ異なるターゲット設定や提案を出されており、なかなか選びがいがいるようです。今後は各課が選んだパートナー企業と共に、課題解決に繋がる効果的な実証実験の検討を具体的に行っていきます。各課の実証実験は来年度の4～6月に予定しています。いったいどのような検証が行われるのか、最終的にどのようなイノベーションが起きるのか、各企業のアイデアと担当課の皆さんの熱意に期待が高まります。



## オンライントークイベント 持続可能な地域の作り方.02

「共に考え、共に悩み、より良いまちをつくるには」をテーマに、NECソリューションイノベータ株式会社所属の飯田眞悟さんにお話をいただきました。

飯田さんは秋田県湯沢市にコーポレートフェロウシップ制度で着任しました。3ヶ月間、週に何度も塩竈市から湯沢市に通い、行政担当者や地域のキーパーソン、子育て中のママさんなどと信頼関係を築いていきました。飲みニケーションも大いに活用。チームマと呼ばれ、どんどん地域に愛されるキャラになっていきました。

飯田さんが大切にしていることは『共創』です。行政担当者や住民と一緒にまちをよくしていくことを念頭に進めていったそうです。3ヶ月の赴任期間が終わった現在でもいろいろなオファーが来るそうで、湯沢市には欠かせない存在となりました。



## オンラインセミナー「LINE公式アカウントを作成してみよう」

「LINEをもっと活用できないかな…」 「LINE公式アカウントを作ってみたけど、あまり活用できていない」 「お店をオープンする予定だけど、どうやってリピーターを獲得したらいいだろうか」という声を受けて、愛知県在住の富谷塾生、森下結季子さんに初心者でもわかるような講座をやってもらいました。その場でアカウントを作っている方もいて、やさしく教えてもらえて、参加者も大満足な様子でした。